

北九州市の新たな行政改革を考える市民シンポ

北九州市行財政改革調査会（市長の諮問委員会）は、本年7月に第1次答申案を発表しました。調査会の答申を受けて北九州市は、コスト至上主義を前面に出して、市民の生活に直接かかわる、ゴミの収集や学校・保育所給食、斎場などの仕事を、民間にゆだねようとしています。昨年3月11日に発生した東日本大震災の教訓として、公務の必要性が改めて認識されています。こうした時、公務のあり方について改めて考える学習会を企画しました。多くの方の参加をお待ちしています。

日時：11月22日(木) 18時30分～
場所：ムーブ大セミナー

【基調講演】公務、公共の役割と北九州行財政改革

三輪 俊和（くらしと平和を守る北九州市民の会事務局長・健和会看護学院学院長）

【発言】

- | | |
|-----------|-----------|
| ①学校給食について | (学校給食調理員) |
| ②清掃事業について | (環境局職員) |
| ③市保育所について | (保育所職員) |

【資料代 300円】

【主催】

「平和とくらしを守る北九州市民の会」 「北九州市職員労働組合」

【連絡先】

「平和とくらしを守る北九州市民の会」

TEL 093-592-5000 三輪